



まちだの新たな 学校づくり通信

Machida New School Project 2040

2022年9月8日発行

鶴川東・西地区

1頁 基本計画検討会/学校名案

2頁 検討内容紹介

3頁 通学の負担軽減/安全対策

4頁 需要調査/公共施設再編

ともに学び、ともに育つ学び舎づくりを目指して

【発行】町田市教育委員会

新たな学校づくりを進めています！

鶴川東・西地区新たな学校づくり基本計画検討会の検討状況

前回の6月6日号に引き続き、鶴川東・西地区それぞれの「新たな学校づくり基本計画検討会」における検討状況をお知らせします！

第5回（2022年6月27日、29日）

- ①通学路の安全対策
- ②通学の負担軽減
- ③新たな学校への歴史の継承
- ④新たな学校の校歌・校章

第6回（2022年7月20日、25日）

- ①通学の負担軽減
- ②学校跡地等の活用
- ③学校施設配置-地域開放・屋外環境づくり-
- ④新たな学校名

第7回（2022年8月24日、29日）

- ①通学の負担軽減
- ②避難施設機能について
- ③学校施設配置-避難施設機能-
- ④新たな学校名

検討会の資料や議事要旨
などはこちらから☞

鶴川東地区

鶴川西地区



ご意見ありがとうございました！

学校名意見募集結果をご紹介します

多くのご回答いただきありがとうございました！お寄せいただいた学校名案を一部ご紹介します。結果は二次元バーコードからご確認いただけますので是非ご覧ください！

○実施概要

- ・実施期間：2022年5月23日（月）～6月17日（金）
- ・対象者：児童、児童の保護者、教員、未就学児の保護者、自治会・町内会長、他市民
- ・回答数：鶴川東・西地区計670件

寄せられた主な学校名（案）（回答数順）
 【鶴川東地区】鶴川第五・鶴川東・能ヶ谷
 【鶴川西地区】鶴川西・真光寺・鶴川第七

学校名意見募集全件結
果はこちらから☞

鶴川東地区

鶴川西地区



現在、検討会で複数案に絞る検討を行っています。10月以降、複数案に絞り込んだ学校名（案）を皆様へお知らせし、広くご意見を頂戴します。

新しい学校はどうしていく？

鶴川東地区・西地区の新たな学校への歴史の継承について検討しています

鶴川第二小学校・鶴川第三小学校・鶴川第四小学校の歴史や伝統のうち、新たな学校に「何を」、「どのように」引き継いでいくか検討をしています。検討会での主な意見をご紹介します！

- ・写真、映像などデジタル化して保存する
- ・卒業制作などの保存方法は、可能な限り卒業生に決めてもらう
- ・集合写真などは、卒業生が来校した際に見られるようにしたい
- ・資料保存のための部屋・スペースを新校舎や別の場所に用意する
- ・記念樹など移設が難しい場合、新校舎の木質化に利用する
- ・地域の歴史などの書物は残したほうが良い
- ・利用目的や歴史を踏まえ、物品ごとに保存方法を引き続き検討する
- ・各校のこれまでの地域交流活動の良いところを継続していきたい



新しい学校はどんな施設がいい？

新しい学校のコンセプト作成に向けた意見交換をしています

2029年度に設置する新しい学校の地域開放、屋外環境づくりや避難施設機能について、イメージ図を参考に、ワークショップで意見交換を実施しました。いただいた意見を施設整備のコンセプトとして整理し、設計・建築に反映していきます。検討会での主な意見をご紹介します！

— 屋外環境づくり —

【鶴川東】

- ・敷地の北側が土砂災害警戒区域になっていることを踏まえた駐車場の位置などの検討が必要
- ・敷地西側の住宅に配慮した施設配置
- ・車両と児童の動線が交錯しない配慮が必要
- ・第二グラウンド側に門を設ける場合、十分なたまりを確保する
- ・ピオトープ、飼育小屋の充実

【鶴川西】

- ・児童と車両の動線が重ならない配慮が必要
- ・車送迎を認めるのであればロータリーを整備する
- ・正門にはなだらかなスロープを設置したい
- ・鶴の台を残すかどうか検討が必要

— 地域開放 —

【鶴川東】

- ・セキュリティーの確保が重要（地域開放の入り口を限定する、児童が使う出入口と分ける、地域開放の管理諸室を設けて利用者を管理、人が門に入る前に管理できる仕組み、など）
- ・開放する特別教室の利用方法、セキュリティー確保を明確にする

- ・PTA室はコミュニティルームの付近に配置する

【鶴川西】

- ・児童の安全を考慮し、開放は必要最小限にしてほしい
- ・教員の負担を考慮し、民間などが管理業務を行う

— 避難施設機能 —

【鶴川東】

- ・避難時に情報収集や連絡が取れるよう、通信設備や発電設備を整備する
- ・敷地の北側が土砂災害警戒区域になっていることを踏まえた施設配置
- ・防災倉庫を建物内（半地下）に設ける

【鶴川西】

- ・防災倉庫を避難場所から近い場所に設ける
- ・避難所として開設する範囲について、学校が再開した際に、両立できるようにする
- ・家庭科室を避難施設から近い場所に整備し、有事の際に連携が取りやすい配置にする

学区外通学制度の見直しを検討します！

通学の負担を心配されるご意見や、通学先について配慮をお求めになるご意見などが多くあることから、基本計画検討会の中では、第6回、第7回の検討会において、学区外通学の新制度案について意見交換を行いました。

いただいたご意見を踏まえ、「町田市学校の統合に伴う学区外通学と費用負担等検討委員会」を設置し、下記の2案をもとに通学の負担軽減を目的とした学区外通学の新制度を検討します。

【町田市学校の統合に伴う学区外通学と費用負担等検討委員会で検討する案】

①学校の統合などにより学区が変更になる児童・生徒の転校の回数が少なくなる配慮

通学区域変更後も、既に通学していた学校またはその学校が統合となる新設校に継続して通学することができる制度を検討します。

②学校の統合などにより自宅から学校までの通学距離が遠くなる児童がより近くの学校に通える配慮

通学区域が広がったことで、指定校よりも、隣の学区の学校の方が自宅からの距離が近い場合に、より近い学校を希望できる制度を検討します。

現地調査をしました！

通学路の安全対策について検討を進めています！

2026年度から、鶴川東地区の児童は現在の鶴川第二小学校の位置に、鶴川西地区の児童は現在の鶴川第三小学校の位置に通学します。また、2029年度以降は、鶴川西地区の児童は現在の鶴川第四小学校の位置に通学をします。今回は両校の通学路を接続するポイントを中心に、登下校の時間帯を中心に新しい通学路候補の現地確認を行いました。

○実施概要

回	日時（鶴川東）	日時（鶴川西）
①	2022年7月15日7:30～	2022年7月4日7:30～
②	2022年7月28日15:00～	2022年7月4日15:00～
③	2022年7月29日7:30～	2022年7月12日7:30～



暑い中ありがとうございました！

引き続き検討を重ねながら、警察・道路管理者等へ安全対策を要望していきます。

項目	2022年度											2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
通学路の安全対策	各地区の危険箇所の確認・意見交換	各地区の危険箇所の現地確認	現地確認結果報告・意見交換	①2026年度の想定通学路の設定 ②交通管理者（警察）・道路管理者（東京都・町田市など）要望内容作成				①2026年度の想定通学路 ②通学路の安全対策の要望内容意見交換				基本計画策定 ①想定通学路案、②安全対策要望	①交通管理者（警察）・道路管理者（東京都・町田市など）に対策を要望 ②地域・保護者と連携した見守り箇所の設定と実施体制検討・実施			鶴川第二・鶴川第三小学校統合新設校開校

みなさまのご意見をおよせください！

学校施設の利用需要調査アンケート実施中！

新たな学校では、子どもたちができる活動を増やし、子どもたちが使っていない時間に地域の方が一部の教室などを利用して活動できるように、民間のノウハウを活用した仕組みづくりを検討しています。

そこで、学校施設を地域施設として利用する可能性のある方に向けて、新たな学校の教室等を使って行いたい活動や、ご家族やご自身で受けてみたいサービス等をアンケート調査しています。アンケートの結果は、学校施設の設計や運営に反映します。

■対象者・実施方法等

対象者	実施期間・回答方法
1 対象校の児童	<回答期限：2022年9月16日> まだ回答していない方はぜひ回答をお願いいたします。 二次元バーコードを読み取ってWebフォームで回答できます。 下記のURLアドレスからもアクセスできます。 〔URLアドレス〕 https://docs.google.com/forms/d/1T8w3VnFHdxRUss0pR7BjbFGmXPzWhsZn44838Nk5eQ/edit?usp=forms_home&ths=true  【回答はこちら】
2 対象校の児童の保護者	
3 新たな通学区に居住している未就学児の保護者	
4 対象地域の町内会・自治会長	
5 対象校の学校開放の利用団体	
6 近隣の公共施設の貸し会議室等を利用している団体	
7 上記以外の市民	

終了間近！
回答お待ちしております！

アンケート実施中！

学校跡地の活用を検討していきます！

☎ 企画政策課 724-2103
防災課 724-3218

鶴川東・西地区では、跡地となる鶴川第三小学校の次の活用方法が既に決まっているため、今回跡地活用の検討は行いません。「新たな学校づくり推進計画」では、鶴川西地区において2036年度に真光寺中学校が跡地となる予定です。

学校は教育活動（授業・部活動）の場としてだけでなく、災害時の避難施設等、地域活動の場としても身近な場所となっています。

跡地の活用に向けて、地域のみなさまがどのようなご意見をお持ちなのかをお聞かせいただきながら、跡地活用の方向性を検討していきます。ぜひ以下のアンケートにご意見をお寄せください！

 【避難広場（避難場所）・
避難施設（避難所）
一覧はこちら】

<公共施設の再編等に関するアンケート>

跡地の活用に向けて、市民のみなさまのご意見をお聞かせください。ぜひ以下のアンケートにご協力をお願いします。

○回答期限：2022年12月4日（日）まで

○回答方法：

町田市HP『公共施設についてみんなで考える場「知ろう！考えよう！公共施設のより良いかたち」』のアンケート専用ページから回答


【回答はこちら】